

北大阪商工組合ニュース

2018年8月／第334号

URL <http://www.kita-osaka.co.jp/~kumiai>
E-mail kitashoko@leaf.ocn.ne.jp

発行／北大阪商工協同組合 住所／豊中市上野東3-18-15-2F 電話(06)6858-5702 Fax(06)6846-2175 (毎月1回発行)

大阪北部地震・西日本豪雨、続く猛暑…



そんな時だからこそ、 協同の力で乗り越えます!!

—そして、今後も想定される自然災害に備えて—

地域の人たちと協力しながら
根気よく片付け復旧に努めます

7月5日、台風が連れてきた梅雨前線が留まり続け、バケツをひっくり返したという表現の数十倍と思える豪雨が断続的に降りました。その都度、一気に雨水が山から溝から溢れ、激しい渦流となつて道であつたところを占拠し、歩くことができません。たつた数分でこんなにも変化してしまうのかと、水の恐ろしさを改めて思い知りました。自由奔放に流れ狂う水や土砂を田畠に入れまいと、雨の中土嚢をつみ、押し寄せてくる瓦礫を片寄せ、奮闘はしたもの

の「もう！無理！」とすぐに判断ができてしまうほどの激しさでした。ニュースで「能勢」の地名が雨量の多さで報じられるほどの記録だったようです。

北摂協同農場に出荷いただいているほとんどの生産者の田畠に冠水があり、ひどい方は土砂の流入、川が決壊し畑



▲激流の跡

北摂協同農場お手伝い

いつでも声を
掛けてください！
駆けつけます！！



▲立派に育ったトマトが哀しい…

私たちで埋めなければ 大きな支援の枠にできる隙間は

一産直の現場から

地震・大雨で被災された方々へ、お見舞いを申し上げます。私たちの会員さんも、家具の転倒やライフラインの寸断など、生活に混乱が生じました。また、私たちが担当している北摂地域は高層マンションが多く、地震時にはそのほとんどでエレベーターが停止し、高齢の方などは大変だつたと思います。私たちの事務所もパソコンがひっくり

返り、物が散乱しましたが、皆ケガがなかつたのが何よりの幸いでした。

そんな混乱の中でしたが、なんとか荷物を届けたいと、地震の当日も手分けをして配達しました。辛かつたのはなんと言つても高層階のお宅。エレベーターが動くのを夕方まで待つてはみましたが、その気配はなし。十数階までの

階段を何軒も何回も荷物を

も避難所に行けない」「情報

の集め方が分からぬ」など

の話を聞く中で、大きな支援

が半分に崩れている道が今

もたくさんあります。

我が地域の大変な状況をお伝えしましたが、他におかれましても、私たち以上の被災状況が聞こえてきます。田畠

が、とにかく安心して過ごせるようにと願っています。

私たちも、地域の人たちと協

力しながら、根気よく片付け

復旧に努めます。

未だおられるなど心傷みま

す。一刻も早く安心して過ご

せることを願っています。

私たちも、地域の人たちと協

力しながら、根気よく片付け

復旧に努めます。

未だおられるなど心傷みま

す。一刻も早く安心して過ご

せることを願っています。